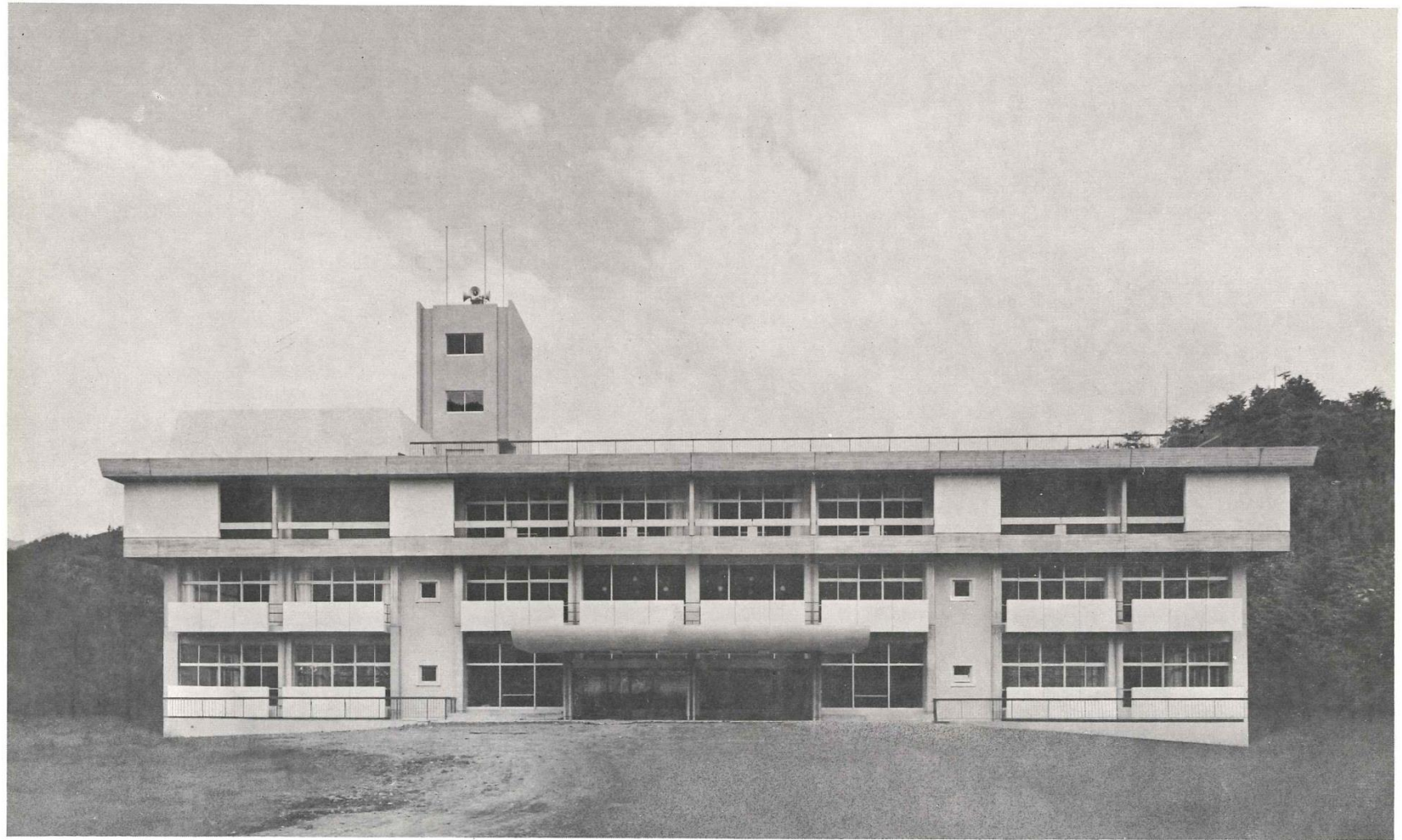




市庁舎全景

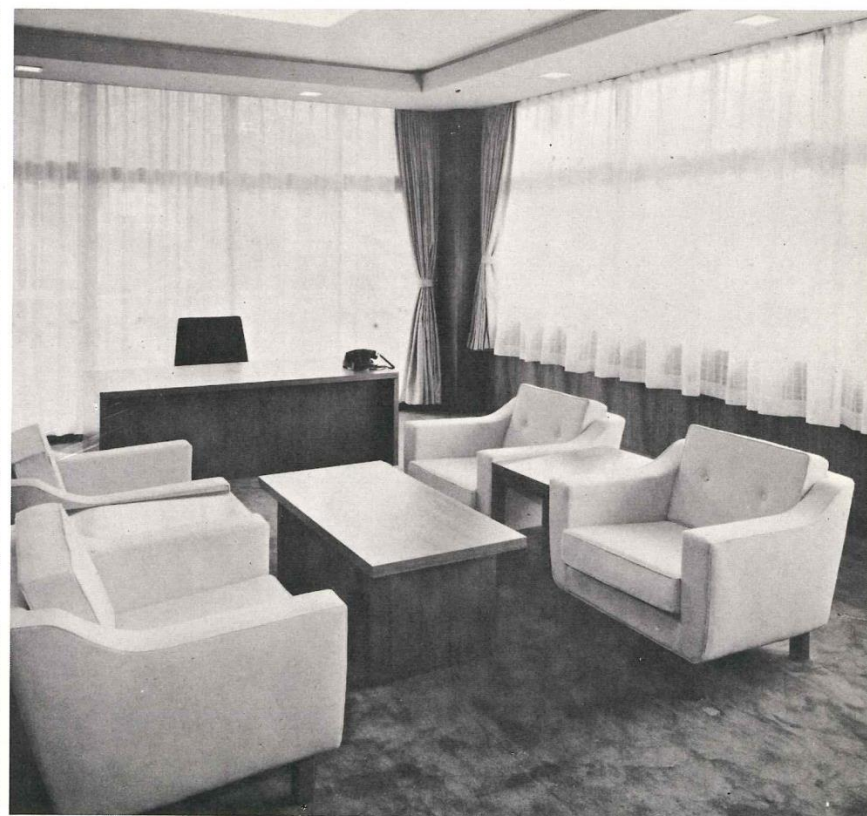
市民課カウンター



玄関ホール



一般事務室

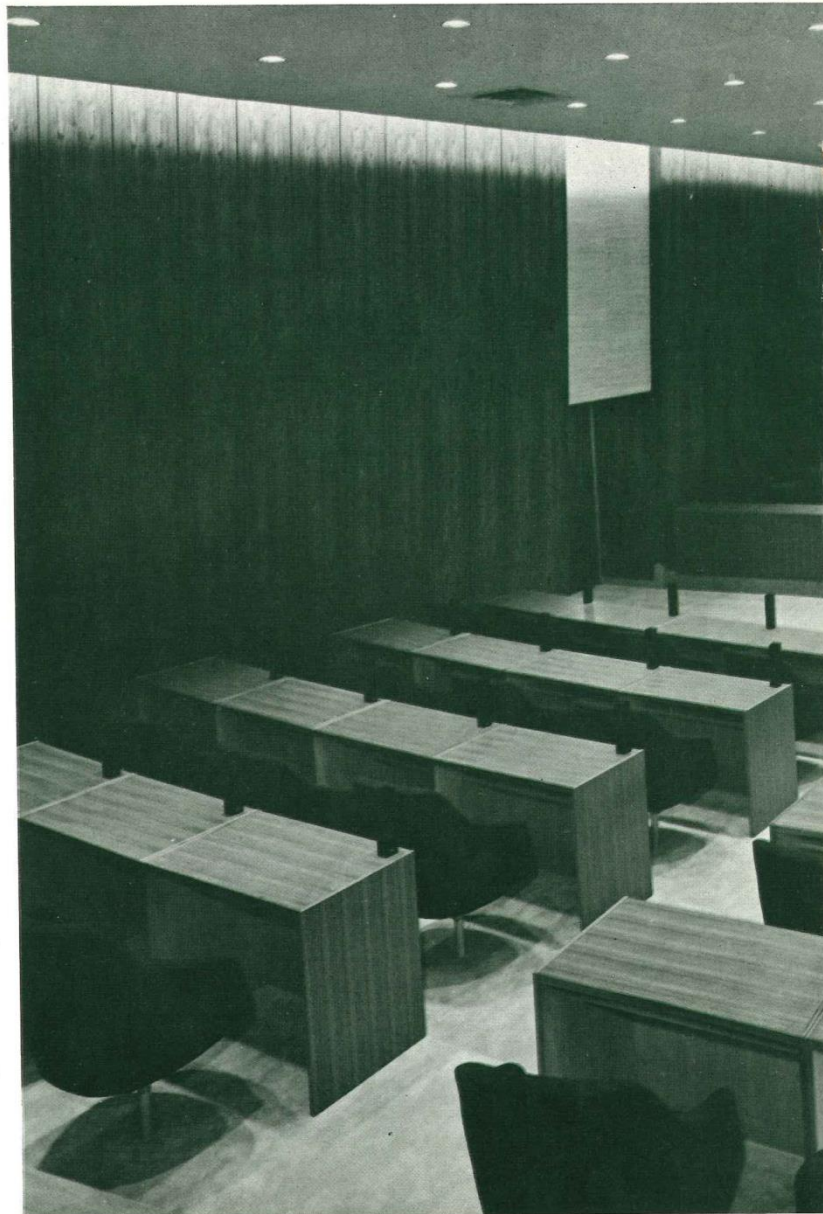
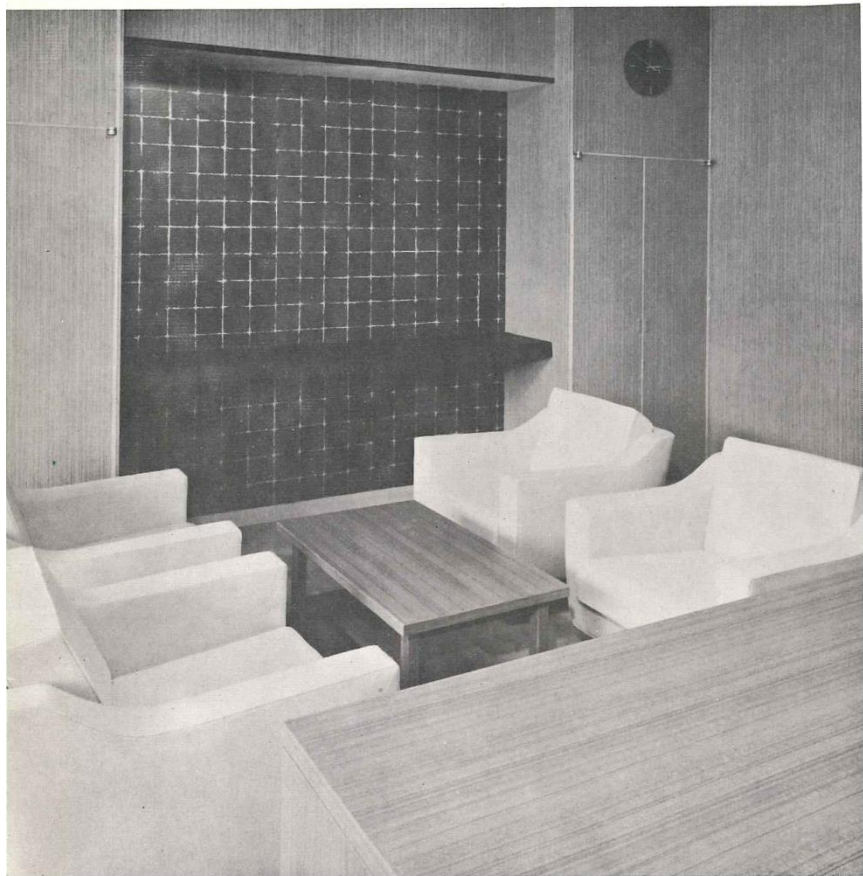


市長室

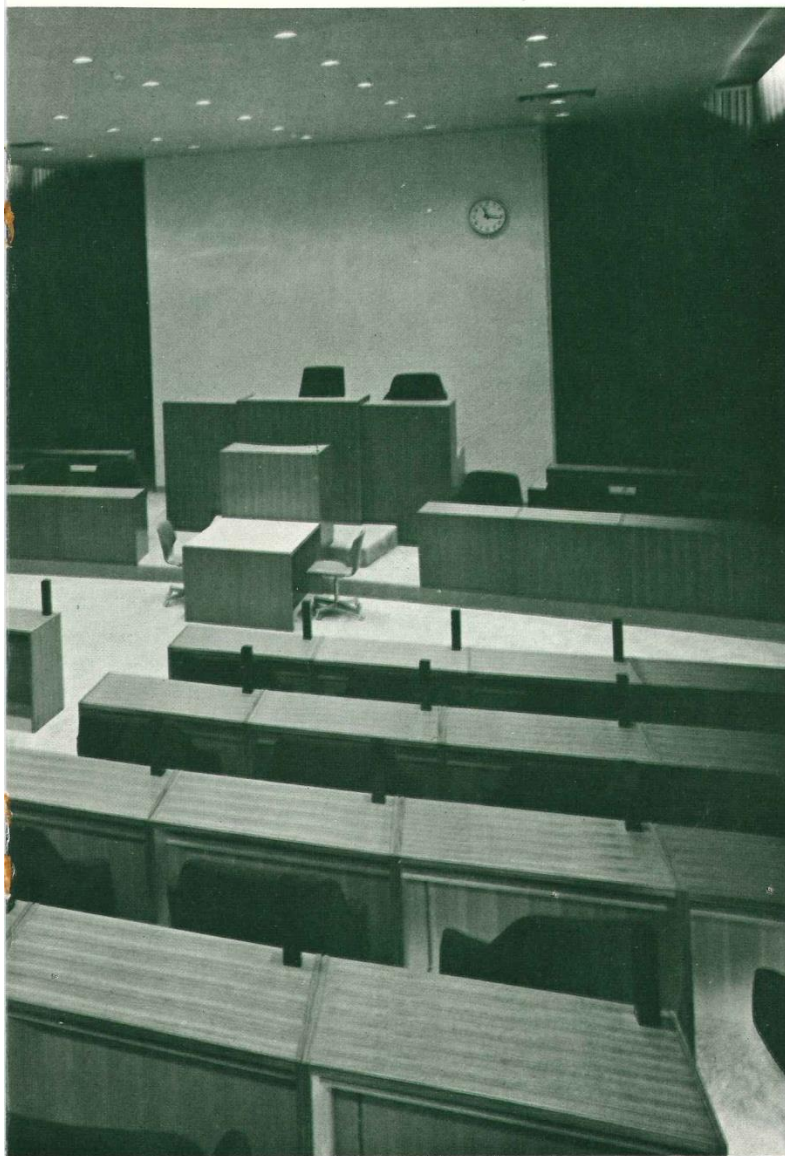
市長公室



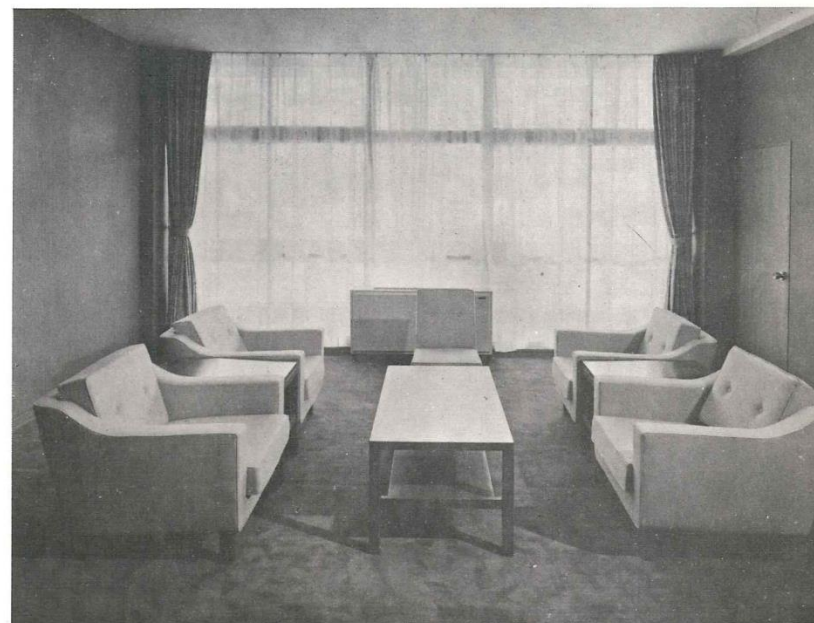
助役室



正副議長室



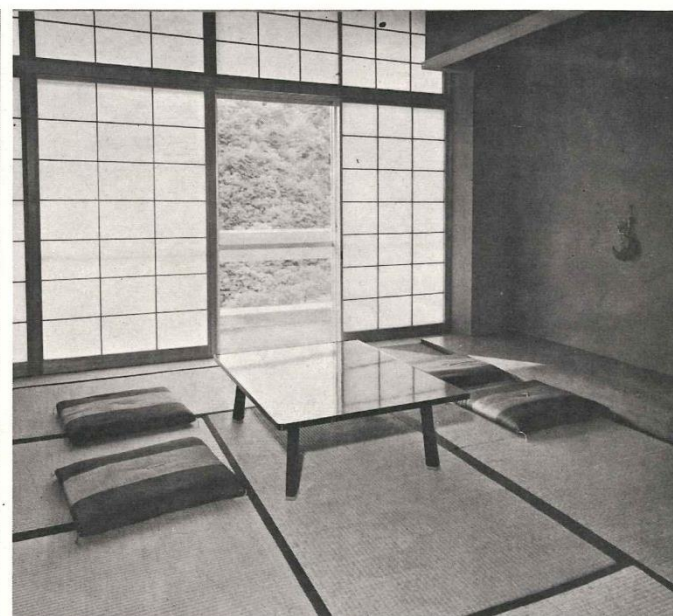
議 場



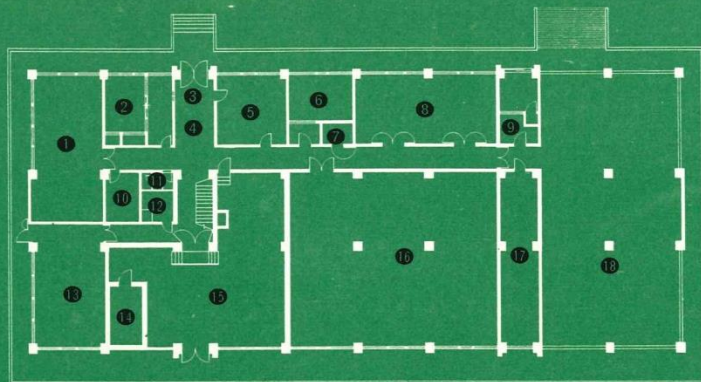
正副議長応接室



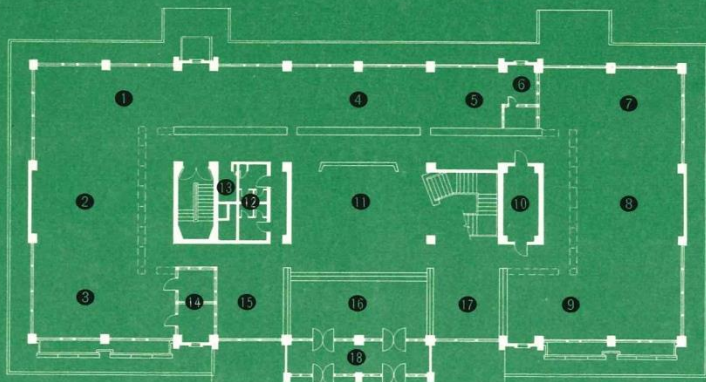
第一会議室



和室



- | | | | |
|--------|--------|-------|------|
| ①会議室 | ⑥女子更衣室 | ⑪便 所 | ⑮文書庫 |
| ②宿直室 | ⑦倉 庫 | ⑫浴 室 | ⑯物品庫 |
| ③職員通用口 | ⑧食 堂 | ⑬電気室 | ⑰車 庫 |
| ④ホール | ⑨運転手控室 | ⑭タンク室 | |
| ⑤保健室 | ⑩倉 庫 | ⑮機械室 | |

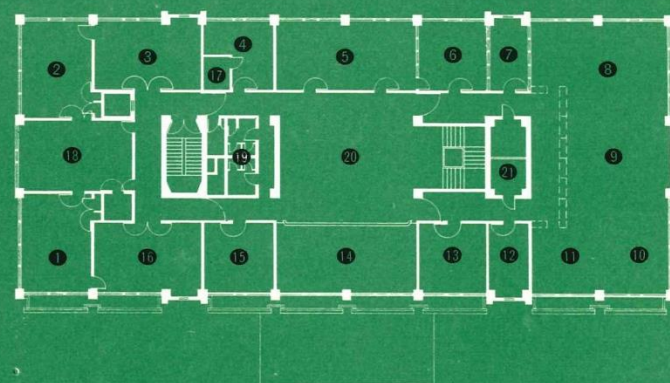


- | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|
| ①建設課 | ⑥収入役室 | ⑪ホール | ⑰案内台 |
| ②産業課(農業委員会) | ⑦税務課 | ⑫便 所 | ⑱待合ホール |
| ③福祉事務所 | ⑧保険衛生課 | ⑬湯沸室 | ⑲風防ホール |
| ④水道課 | ⑨市民課 | ⑭個 室 | |
| ⑤会計課 | ⑩倉 庫 | ⑮展示ホール | |

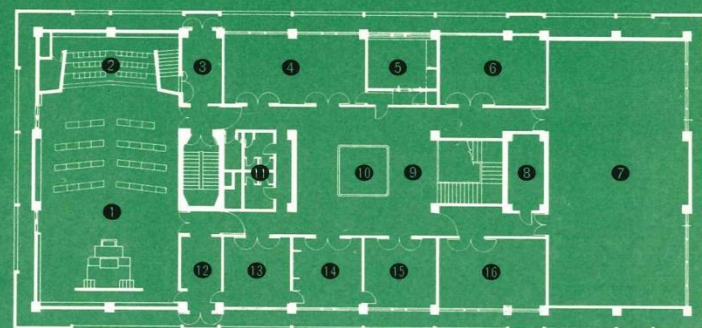
1階 3階

平面図

2階 4階



- | | | | |
|--------|--------|---------|------|
| ①市長室 | ⑦小会議室 | ⑬行政委員会室 | ⑲便 所 |
| ②助役室 | ⑧庶務課 | ⑭吹 技 | ⑳ホール |
| ③第一会議室 | ⑨管理課 | ⑮第二会議室 | ㉑倉 庫 |
| ④電話交換室 | ⑩教育長室 | ⑯市長公室 | |
| ⑤第三会議室 | ⑪教育委員会 | ⑰放送室 | |
| ⑥企画課 | ⑫記者室 | ⑱庶務課秘書室 | |



- | | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| ①議 場 | ⑤和 室 | ⑨ホール | ⑬議会事務局 |
| ②傍聴席 | ⑥第二委員会室 | ⑩吹 技 | ⑭正副議長室 |
| ③傍聴ロビー | ⑦大会議室 | ⑪便 所 | ⑮正副議長応接室 |
| ④議員控室 | ⑧倉 庫 | ⑫議場ロビー | ⑯第一委員会室 |

■都留市庁舎新築工事概要

位 置 山梨県都留市上谷270番地

建物概要

構造規模	鉄筋コンクリート造4階建、塔屋3階付	
敷地面積	6,300.000m ²	(1,905.750坪)
建築面積	1,269.996m ²	(384.180坪)
各階床面積		
1階	1,009.547m ²	(305.390坪)
2階	1,029.332m ²	(311.370坪)
3階	941.432m ²	(284.780坪)
4階	1,202.796m ²	(363.850坪)
M4階	45.603m ²	(13.800坪)
塔屋1階	17.100m ²	(5.140坪)
" 2階	25.920m ²	(7.840坪)
" 3階	25.920m ²	(7.840坪)
合 計	4,297.650m ²	(1,300.010坪)
建物高さ	23.30 m	

設備概要

受電設備	高压受電設備 125kVA
電灯設備	蛍光灯・白熱灯
電話設備	共電式構内交換機 2台、桌上電話機 80台
その他設備	放送用スピーカー 40台 水晶時計、避雷針設備

給排水衛生設備 給水、給湯、消火栓、排水設備

冷暖房設備

空気調整	ファンコイルユニットによる冷暖房設備 一時温風暖房による
セクショナルボイラー	501,100Kcal/H
パッケージ 2台、	クーリングタワー 1台

工事経過

起 工 式	昭和42年3月9日
落 成 式	昭和43年5月23日

工事関係者

設計監理	齋 加藤明建築設計事務所
施 工	鹿島建設株式会社
事業費総額	240,000,000円

都留文科大学

市庁舎の落成によせて



旧市役所庁舎は、木造二階建てで、建物も古く狭隘であった。しかるに前田市長は、まず谷村第一小学校、統合中学校、桂高校とつぎつぎに文化施設を整えるかたわら、都留文科大学を現在地に移転新築して、従来の産業都市都留市に文化都市としての要素を加えた。そして城山の麓、旧都留文科大学跡に四階建ての市庁舎を建設した。この挙は

古の仁人の心、すなわち先憂後樂の精神の発露である。

本学も40年度に第一期工事を、41年度に第二期工事を完了し、42年度に旧校舎の移転を終わって約2,000名の学生を収容する施設を整えた。

現在、初等教育、国文、英文の三学科を備え、本学が、りっぱな市庁舎の建設と相まって、施設、設備の充実と、学部、学科の増設に努力し、名実そなわった文化都市としての基礎を確立したいと念じている。

昭和43年5月23日

都留文科大学長 中 西 清

育 才
家
あき秋
清 西 中